

市長提出議案

令和6年度一般会計補正予算(第11号)…可決

〔内容〕学校施設整備事業、地籍調査事業、人事院勧告に伴う民間保育園入所費の増額

入江議員…賛成

教育環境の整備は、子どもたちの健全な成長と学習環境の向上に不可欠。中村市長から説明のあった、こどもまんなか社会の実現に向けた事業であり、未来を担う子どもたちが安全安心に、そして伸び伸びと学校生活を送るために必要な予算。

長塚議員…賛成

永山中学校校舎体育館改修工事は、生徒たちの提言や要望を反映したもの。学校環境の整備は学びの根幹を支える重要なものであり、これまで以上に居心地のよい学校生活が送れることを期待。

落合議員…賛成

永山中学校の改修事業でバリアフリー化と主要施設・教室にインターホンが設置される。教職員の業務効率化と学校防犯対策が向上し、未来を担う世代への安全で快適な誰一人取り残さない学習環境整備が図られる。

小堤議員…賛成

高井小学校の増築事業・永山中学校の改修事業は、次世代を担う子どもたちが心身ともに豊かに成長するために必要。取手グリーンスポーツセンターの下水道敷設も下水処理環境及び施設の利便性の向上につながる。住み続けるほど好きになるまちづくりにつながる補正予算であると高く評価。

令和7年度当初予算

令和7年度一般会計予算…可決

〔内容〕こどもまんなか社会の実現に重点を置きつつ、とりで未来創造プラン2024に掲げる6つの基本項目の重点事業を推進することを基本として予算編成

遠山議員…反対

法人市民税の状況から中小企業の深刻な経営状況がうかがわれる。地域経済の担い手は中小企業であり、中小企業・小規模企業振興基本条例の理念だけでない具体策が求められる。学校給食費無償化や子どもの医療費無料化の要求に応えていない。子育て支援事業の最優先事業として取り組むべき。

古谷議員…賛成

ふるさと取手応援寄附金推進事業は、返礼品となる市内の特産品・農産品を通じたイメージアップとともに、市内農業の拡充のために大切な事業。また、こどもまんなか社会の実現と妊娠婦や子育て支援のための経費が計上されており、未来への大きな布石となる。

岡口議員…賛成

不登校対策としての児童生徒への支援、市制施行55周年記念事業として取手ロゲイニングの計画などの経費が計上されており、こどもまんなか社会を掲げる市にふさわしい。財源を確保するため、ふるさと納税をはじめとした取り組みを進め、効果的・効率的に事業展開が図られるよう予算編成されていることを高く評価。

杉山議員…賛成

保育士等の処遇改善に関する請願の採択を受けて、国や県に財政措置と施策を要望するとともに、市独自の処遇改善を検討し、新規採用保育士等応援補助金と保育士等勤続功労補助金の予算が計上された。多岐にわたり未来を見据えた予算であると市長の手腕を高く評価。

関川議員…賛成

結婚新生活支援事業の所得制限の引上げは、少子化対策として大きな前進。また、道路維持補修予算の増額も、通学路の安全性向上や交通事故のリスク軽減につながるとともに、物流効果の向上や企業誘致に寄与し地域経済の活性化にも貢献する。市民生活の向上と持続可能なまちづくりを目指した適切な予算。

根岸議員…賛成

民間保育士等処遇改善事業は、厳しい財政状況の中、よく考え抜かれている。また、対話型鑑賞ツアー学校連携事業も、取手市だからこそ実現可能な事業となっており、小規模特認校である山王小学校で積み重ねられている、アーティストと児童の交流事業から生まれる世界観が市内全20校に広がる。



結婚新生活支援事業の
事前告知チラシ

令和7年度競輪事業特別会計予算…可決

本田議員…反対

競輪は、刑法で禁止されている賭博を自転車競技法で戦後復興策として時限的に認められた公営ギャンブル事業。競輪がギャンブルである以上、ギャンブル依存症の問題があり、本市のまちづくりの基本方針と相容れることはできない。

染谷議員…賛成

市の競輪事業は地域経済の発展や市民の福祉向上に寄与している。経済波及効果があり単なるギャンブルではない。競輪事業から得られる税収は、地域の公共サービスやインフラ整備、教育や福祉施設へと還元され、地域全体の活性化につながる。少子高齢化が進む中での持続可能な財政にとって欠かせない。

根岸議員…反対

競輪事業の振興は、ギャンブル依存症患者を増やし、その家族や関係者を苦しめる恐れがある。経済効果だけでなく、負の側面についても目を向けるべき。成年年齢が引き下げられ、カードやローン等の契約が18歳から可能になった。誰もが軽い気持ちから経済的困窮に陥ってしまいかねない環境下での公営ギャンブルを容認することはできない。

細谷議員…本田・根岸議員に反論

公営ギャンブルが不幸をもたらすということについて、市民が何をどう困っているかのエビデンスがない。また、「ギャンブル」という表現は間違いで「公営競技」。そして、特定の仕事を排除するような発言は職業差別ではないか。

染谷議員…根岸議員に反論

競輪は20歳からしか買えないため、成人年齢が18歳に引き下がったことは全く関係ない。

請願

身近なところに図書館がある街づくりを求める請願…不採択

(提出者…松浦 和子 ほか527人)

紹介議員…加増 充子)

〔請願事項〕

- 1 取手図書館の改修整備
- 2 分館機能を担っている公民館図書室を市民が利用しやすいように整備
- 3 分館機能を担う公民館図書室を増やすこと
- 4 公民館のないところに図書館分館を新設

加増議員…賛成

中心的な拠点に立派な図書館があればよいというのではなく、今ある分館機能を担っている公民館図書室をもっと利用しやすいように整備し、公民館図書室を増やしていくことが身近なところに図書館があるまちづくりになる。

赤羽議員…反対

今の図書館を改修するよりも、駅前に新しい図書館を設置したほうが、図書館の利用者にとっては交通の利便性が高い。ゆったりしたスペースで時間を過ごせる図書館を望む。

根岸議員…反対

請願の趣旨は十分理解するものの、新たな図書館分館の新設については、本市の財政状況と今後の人口減少等を鑑みると実現が難しい。

佐野議員…反対

現在の取手図書館は、駐車場や施設の老朽化、交通の利便性などの問題もあり、中枢となる図書館としては課題が多い。図書館に偏った予算の配分は、バランスのとれたまちづくりを妨げる恐れがあるため、ニーズ調査を進め慎重に検討すべき。

取手市議会における予算・決算委員会審査を議員全員で行うことを求める請願…不採択

(提出者…結城 繁 ほか40人)

紹介議員…根岸裕美子)

〔請願事項〕

予算・決算委員会審査を議員全員で行うこと

遠山議員…賛成

市民の負託に応える市議会として、市民主体の議会改革に取り組む姿勢を示すべき。

根岸議員…賛成

予算・決算審査において、全議員が事前調査した上で、執行部に質疑する前に議員間討議を行い、質疑をより深いものに練り上げてから審査する必要がある。現在は、会派ごとの意見を述べ合うだけになり熟議には至っていないため、会派を超えて審査に臨むべき。

佐野議員…賛成

予算・決算という重要課題に関しては、全ての議員が平等に意見を述べ、市民の利益を守る役割を果たすべき。審査の効率性や、議員・執行部の負担増などの課題はあるが、この請願をきっかけに議員全員での審査について議論していきたい。

金澤議員…根岸・佐野議員に反論

全員で審議することも一つの方法だが、請願提出者は分科会方式で審議することを求めており、それでは一部の議員しか審議できない。また、会派ごとの意見を述べ合うだけになっているとの指摘だが、私の会派に所属する委員は、自分の視点に立ったしっかりとした質疑を行っていた。

耕作放棄地活用で米作を促進し、学校給食に安価で良質米の提供を求める請願…不採択

(提出者…菅谷 栄 紹介議員…遠山 智恵子)

〔請願事項〕

耕作放棄地活用で米作を促進し、その米を学校給食に向けることにより、安価で良質米を提供すること

遠山議員…賛成

付託委員会での請願者発言では、地域をよく知り、農業課題を熟知された市民の話聞いた。今定例会では6名の議員が一般質問で農業問題を取り上げており、一般会計予算・決算審査特別委員会の総括質疑でも重要課題として1番目に取り上げられている。

鈴木議員…反対

耕作放棄地は、元の水田に戻すのに時間と費用がかかる点、現在の農業公社で耕作放棄地を借り上げて米を生産できない点、田植えや稲刈りの担い手を確保することが困難である点から課題がある。

根岸議員…反対

農業政策に注力する必要はあるが、農業公社が耕作放棄地を耕作するという提案や、学校給食に安価に良質米を提供することもさまざまな課題があり実現は難しい。

細谷議員…鈴木・根岸議員に反論

取手市の豊かな自然の中心をなすのは水田であり、排水対策等でも大きく貢献している。耕作放棄地となった先人たちが築いた田畑を活用し、復活するように取り組むことが必要。
山野井議員…鈴木・根岸議員に反論
耕作放棄地の増加は、イノシシや熊などが市街化区域内に入ってくる原因と言われている。また、学校給食に安価で良質な米を提供することは、米作をボトムアップしていくための入口となる。

遠山議員…鈴木・根岸議員に反論

農業公社が法人化されれば、米を作ることはできる。また、農業委員会の点検結果として、高齢化や担い手不足のため遊休農地面積は増加の傾向にある。引き続き遊休農地解消に努めるとホームページに載っており、農政担当課も同じ思いであると受け止めている。中村市長やまちづくり振興部の皆さんに知恵を絞って取り組んでほしい。

一部事務組合議会議員の選挙結果

茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の一般選挙は、指名推選により、岩澤 信議員が当選人となりました。

会派「無会派クラブ」が結成されました

令和7年3月31日、会派結成届が提出され、会派「無会派クラブ」が結成されました。所属議員は、根岸 裕美子議員と佐野 太一議員です。

◆各議員の一般質問については、
市の議会報ホームページをご覧ください。

市議会だより「ひびき」

検索



取手市議会だより「ひびき」 第255号
(令和7年5月1日発行) 一般質問ページへの二次元コード